

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

| 再生材名 | 規格 | 使用箇所 | 再資源化施設名・所在地 | 備考 |
|------|--------|------|---------------------|----|
| 砕石 | ARC-40 | 路盤工 | 現場から40kmの範囲内の再資源化施設 | |
| 砕石 | RC-40 | 基礎砕石 | 現場から40kmの範囲内の再資源化施設 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

| 発注機関 | 工事名 | 発生場所 | 施工会社名・連絡先 | 備考 |
|------|-----|------|-----------|----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

| | | | |
|--------------|-----------------------|--|--|
| 受入工事名 / 施設名称 | (有)池田産業残土捨場 | | |
| 工事場所 / 施設所在地 | 小千谷市上片貝地内 | | |
| 連絡先 | | | |
| 受入時間 | | | |
| 受入費用 | 1,300円/m ³ | | |
| 仮置場所の有無 | | | |
| 備考 | | | |

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

| | | | |
|----------|--------------|-----------------------|--|
| 搬出する廃棄物名 | アスファルト廃材 | コンクリート廃材 | |
| 処理施設名称 | エイエックス㈱ | しなの産業㈱片貝工場 | |
| 施設所在地 | 小千谷市片貝町寺社堀 | 小千谷市片貝町寺社堀 | |
| 連絡先 | 0258-84-3835 | 0258-84-3773 | |
| 受入時間 | 8:00～16:30 | 8:00～17:00 | |
| 受入費用 | 1,200円/t | 無筋2,000円/t 有筋2,400円/t | |
| 備考 | | | |

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の指示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、すみやかに発注者に報告し、協議すること。

再生クラッシャーラン・アスファルト再生クラッシャーラン特記仕様書

建設工事に伴い発生する建設廃材を破砕または混合して、製造する再生クラッシャーラン・アスファルト再生クラッシャーラン（以下「再生クラッシャーラン等」という。）の性状について、次のとおり規定する。
なお、再生クラッシャーランを構造物の基礎材等として使用する場合についてもこの定めによる。

1.材料

(1)

1)再生クラッシャーラン(RC-40)

セメントコンクリート廃材から製造した再生骨材および路盤再生骨材(路盤発生材に応じてこれに補足材を加えて、所要の品質が得られるように調整した材料をいう。

2)アスファルト再生クラッシャーラン(ARC-40)

再生クラッシャーラン(RC-40)もしくはクラッシャーラン(C-40)を母材とし、グリズリアンダー材を混合したものを用いる。

アスファルト再生クラッシャーランには、再生クラッシャーラン(RC-40)を母材とする「RC混合」とクラッシャーラン(C-40)を母材とする「C混合」がある。

(2)

再生クラッシャーラン等は、ゴミ、泥、有機物、プラスチック、金属、ガラス、陶磁器、レンガ、瓦等を有害量含んではならない。

(3)

再生クラッシャーラン等の最大粒径については、最大40mmと定める。

2.品質

(1)

再生クラッシャーラン等の品質規格ならびに品質管理については、新材のクラッシャーランに準じるものとする。

路盤材に使用する再生クラッシャーラン等の修正CBR、塑性指数、グリズリアンダー材の混入率は次表を標準とし、舗装の構造設計に用いる等値換算係数(下層路盤)は0.25とする。

| 材料 | 修正CBR | PI (塑性指数) | グリズリアンダー材の混入率 |
|------------------|-------|--------------|---------------|
| 再生クラッシャーラン | 30%以上 | 6以下 | - |
| アスファルト再生クラッシャーラン | 40%以上 | 6以下 | 質量配合40%以下 |

[注]

1)

再生クラッシャーラン等に用いるセメントコンクリート再生骨材は、すりへり減量が50%以下でなければならない。試験方法はロサンゼルスすりへり減量試験(粒度は道路用砕石S-13(13~5mm)のもの)とする。

2)

再生クラッシャーラン等の材料として路盤再生骨材もしくは路盤発生材を用いる場合のみPIの規定を適用する。

(2)

再生クラッシャーラン等の粒度は[JIS A 5001]道路用砕石の規定に準じ、粒度範囲は次表による。

| 粒度の範囲(mm) | | RC-40 | ARC-40 |
|----------------------------|------|--------|--------|
| ふるい目(mm) | | (40~0) | (40~0) |
| 通過 質量 百分 率 (%) | 53 | 100 | 100 |
| | 37.5 | 95~100 | 95~100 |
| | 31.5 | - | - |
| | 26.5 | - | - |
| | 19 | 50~80 | 50~80 |
| | 13.2 | - | - |
| | 4.75 | 15~40 | 15~40 |
| | 2.36 | 5~25 | 5~25 |

[注] 粒度は、モルタル粒などを含んだ解砕されたままの見かけの骨材粒度を使用する。